

<目次>

I. 総括研究報告

気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究

大田 健 1

II. 分担研究報告

1. 成人アトピー型喘息治療管理における

環境アレルゲンモニタリングに基づく環境整備の有用性についての研究

釣木澤尚美 11

2. 呼気一酸化窒素 (FeNO) を用いた気管支喘息管理手法の確立

棟方 充 25

3. 高齢者喘息の病態解明と治療・管理法の確立に関する研究

東田 有智 30

4. 強制オキシレーション法による喘息のクラスター分類に関する研究

檜澤 伸之 34

5. 乳幼児喘息の病態解明と治療法の確立に関する研究

近藤 直実 37

6. 日本における小児期発症気管支喘息のフェノタイプに関する研究

下条 直樹 41

7. 気管支喘息における気道炎症指標を含めた重症度別クラスター解析

—多施設共同研究の結果から—

長瀬 洋之 43

8. 喘息重症度と IgE の経年的変化に関する前向き研究

田中 明彦 51

9. 気管支喘息に関する医療連携システムの活用に関する研究

井上 博雅 55

10. 乳幼児気管支喘息の非侵襲的診断方法に関する研究

—尿中ロイコトリエン E4 について、ならびに乳幼児の喘息予知テスト—

森川 明廣 58

11. 『喘息死ゼロ作戦』の軌跡とその成果に関する研究 『喘息死ゼロ』達成の基盤としての 薬剤師による患者吸入指導体制の確立に関する研究 大林 浩幸	63
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	67
IV. 主な研究成果物	68